

こころが写るカメラ

細胞の動きをとらえるカメラ

がんを見つけるカメラ

免疫を見るカメラ

磁石を使って見るカメラ

# カメラがとらえた いのちのふしき

2011  
**7.22**  
Fri

## “がん”を見つけるカメラ、“こころ”を写すカメラ

～その開発と今までにわかったこと～

畠澤 順／大阪大学大学院医学系研究科 教授

2011  
**7.28**  
Thu

## ライブで見る身近にある「免疫」

鈴木一博／大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任准教授

- 時 間 両日とも 午後6時30分 - 午後8時00分（開場 午後6時）
- 場 所 アートエリアB1（京阪電車中之島線「なにわ橋駅」地下1階コンコース）  
(地下鉄「淀屋橋駅」「北浜駅」から徒歩約5分)
- 参加費 無料（事前申込不要・定員70名）

Guest



畠澤 順

Jun Hatazawa

大阪大学  
大学院 医学系研究科  
教授

カフェ・オンザエッジ  
2011  
7.22  
Fri

「がん」を見つけるカメラ、  
「こころ」を写すカメラ、  
その開発と今までにわかつたこと

大阪大学大学院医学系研究科教授  
東北大学医学部医学科卒／医学博士  
東北大学サイクロトロンラジオアイソotopeセンター助手、秋田県立脳血管研究センター研究部長を経て、2002年より大阪大学大学院医学系研究科核医学講座教授（免疫学フロンティア研究センター教授を兼任）。研究内容は、「PETやSPECTによる画像診断と新しい生体イメージング技術の開発」

体の中で何が起きているか見ることは長い間の人類の夢でした。顕微鏡が発明されて生物は細胞でできていることがわかりました。病原菌が発見されて、感染症の原因になっていることが分かりました。さらに20世紀以降、放射線・超音波・蛍光・磁気の信号をのものとに、生きているヒトの体の中の写真や動画をとることができるようになりました。こうして、「がん」を見つけたり、「脳の働き」をみたりできるようになったのです。今回のカフェでは、こうした生体カメラの開発にまつわる話題や最新のカメラで分かったことを紹介します。

Facilitator



ファシリテーター  
坂野上 淳

大阪大学  
免疫学フロンティア研究センター  
特任准教授

東北大学大学院理学研究科物理学専攻修了、博士（地球環境学）。厚生省・民間会社での研究員を経て、2008年より大阪大学免疫学フロンティア研究センターに勤務。広報・研究マネジメント担当。

Guest



鈴木 一博

Kazuhiro Suzuki

大阪大学  
免疫学フロンティア研究センター  
特任准教授

カフェ・オンザエッジ  
2011  
7.28  
Thu

ライブで見る  
身近にある「免疫」

大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任准教授  
大阪大学医学部医学科卒／医学博士

カリフォルニア大学サンフランシスコ校研究員を経て、2011年より大阪大学免疫学フロンティア研究センター免疫応答ダイナミクス研究室特任准教授。研究内容は、「多光子励起顕微鏡を用いたライブイメージングによる免疫細胞動態の解析」

風邪を引いたときに喉のリンパ節が腫れる、金属アレルギーでネックレスの痕が赤くただれる・・・これらは私たちのからだに備わる「免疫」の働きによるものです。「免疫」は、外敵を見つける細胞や食べる細胞など、個性豊かな細胞たちのチームプレイで成り立っています。最近の顕微鏡技術の発達とともに、からだの中で彼らが動き回っている様子を生きたまま見ることができるようになりました。今回、私たちの身近にある「免疫」の働きをとりあげて、そこでくり広げられる免疫プレイヤーたちの華麗な姿をライブ映像とともに紹介します。

「カフェ・オンザエッジ」とは？

世界的な免疫学者、審良静男教授（大阪大学免疫学フロンティア研究センター拠点長）を中心とする研究プロジェクトや研究拠点の研究者をゲストに招いて開催するサイエンスカフェのシリーズです。これからも、免疫学や関連分野の研究者を迎えて、最先端の研究を紹介していく予定です。

アートエリア ピーワン

**B1**

京阪電車 なにわ橋駅



京阪電車中之島線「なにわ橋駅」地下1階コンコース  
(地下鉄「淀屋橋駅」「北浜駅」から徒歩約5分)

会場に関するお問い合わせ：アートエリア B1  
TEL.06-6226-4006 (12:00~19:00) ※月曜休 (祝日の場合は翌日)

※車いすでお越しの場合は、あらかじめアートエリア B1までご連絡いただきますようお願いいたします。